

## ◆ 平成28年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 秩父の環境を考える会

19A-01

代表者：理事長 町田和彦

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

秩父地方には県市町村から天然記念物等指定を受けた巨木が数多く存在する。それらは地域に溶け込み、信仰の対象となっているものもある。これまで本会は、それらを調査、「秩父地方の老樹名木」として刊行した。しかし、多くの古木は枯損などが心配されている。秩父市で「巨木を語ろう全国フォーラム埼玉大会」が開催されるのを機に、古木を守るための講座や意見交換、実践活動など行われることが望ましいと考えた。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

1) 講座、講演会の開催（各講座 40 名前後が参加）

第1回目 8/28（日）

① 秩父とイチョウ 講師 大友一夫（大友内科医院医師）

② 古代の文房具—文房四宝から陶硯について

講師 石井則孝（元日本遺跡学会会長）

第2回目 9/11（日）

① 酒作りと秩父錦の歴史 講師 新井則久（酒作りの森酒造資料館長）

② 海外の博物館から学ぶ—ヨーロッパの自然科学博物館—

講師 本間岳史（元埼玉県立自然の博物館長）

講演会 11/6（日）（100 名を超える人々が参加）

①「証言でよみがえる秩父鉾山」講師 黒沢和義（イラストレーター）

②「両神山と白井差村」講師 山中豊彦

2) 秩父地方の老樹名木の現状を調査し、冊子を 500 部発行した。

3) 写真展の開催：8月24日（水）～29日（月）、秩父市矢尾の展示場で「秩父地方の巨木・名木・樹木」写真展の開催をした。延べ 500 人以上の見学者があった。

4) 「巨木を語ろう全国フォーラム埼玉大会」に運営参加。



### 3. 活動の成果

- ・多くの方が講座や講演会へ参加、環境への知識、意識の高まりが見られた。
- ・秩父地方の老樹・名木の現状を確認、これらの樹木にまつわる人々との関わりを知ることができた。同時に、後世に引き継がねばならぬ責任を重く感じた。
- ・写真展に来た人は、「昔、私が小さい頃からあった木が…」と感動していた。巨樹や巨木が人間に与えてくれる癒やしやエネルギーを強く知ることができた。

### 4. 今後に残された課題

市民に環境に関する意識は深まったと思われるが、いまだ十分とは言えない。老樹・巨木・名木に限らず、自然が与えてくれるより高い精神的なものを大切にする政策形成、市民の取り組みが大切である。一方、落ち葉等の苦情があるから木を切るといった方法ではなく、ボランティアを募って枯れ葉の処理をする等地域を巻き込んで苦情が出ないようにするシステムの構築も重要であると思われる。